

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

岡山県 津山市

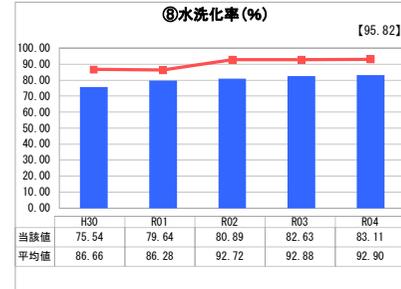
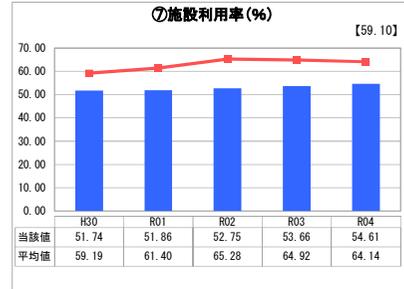
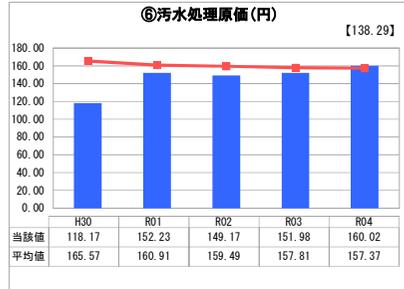
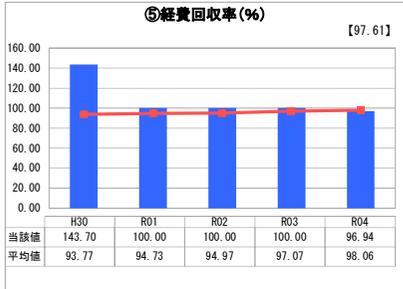
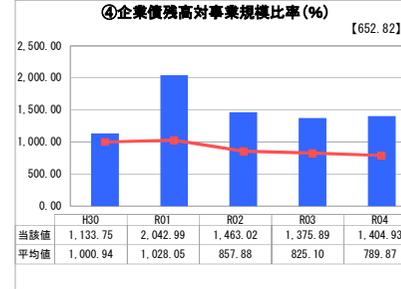
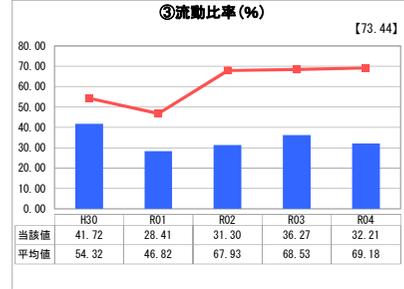
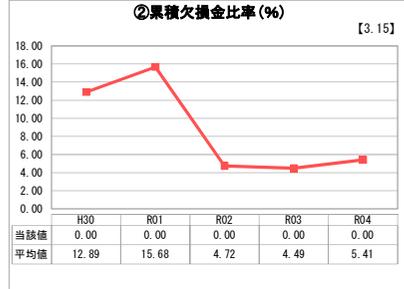
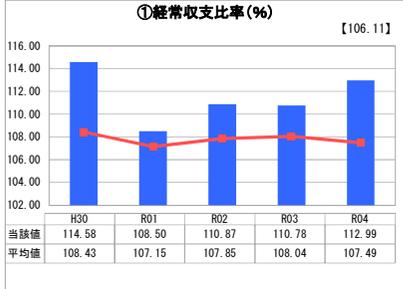
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	53.77	35.40	94.90	3,465

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
97,645	506.33	192.85
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
34,310	12.74	2,693.09

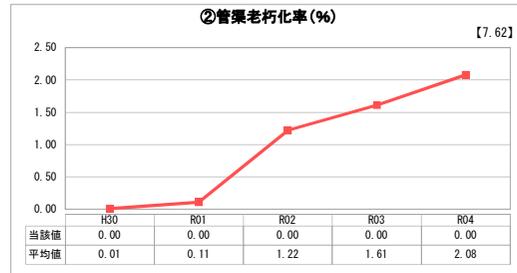
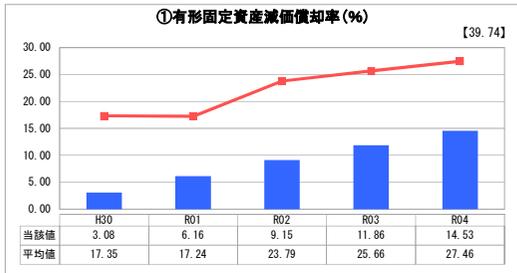
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を超えていますが、経常収益の約3割が一般会計繰入金であるため、効率的な経営や資本費の抑制に努め、繰入金に依存しない経営改善を図る必要があります。

② 累積欠損金は生じていませんが、一般会計繰入金により赤字相当を補填しているためです。

③ 流動比率は類似団体と比較しても低い水準ではありませんが、年間を通じて運転資金が不足することがないように、経費、一般会計繰入金、一時借入金を計画的に調達しています。

④ 企業債残高対事業規模比率は類似団体と比較して高い水準ですが、企業債残高は減少傾向です。比率の増加は、企業債残高から控除する一般会計負担額を毎年直しているためです。

⑤ 経費回収率が100%を下回っていますが、新型コロナウイルス交付金を処理場維持管理費へ充当したことが影響しているため、実際は100%になります。

⑥ 汚水処理原価が類似団体より高くなっていますが、新型コロナウイルス交付金を処理場維持管理費へ充当したことが影響しているため、実際は類似団体以下の水準となります。しかし、人口減少などの影響で有収量の増加が想定を下回っているため、接続率の向上を図る必要があります。

⑦ 施設利用率は微増しているものの、人口減少の影響を受け依然として低い水準です。施設更新時に適切な施設規模を検討します。

⑧ 水洗化率は類似団体を下回っている状況が続いていますが、整備面積の拡張により、水洗化率は微増しています。整備済み区域においても、引き続き水洗化の普及啓発に努めます。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は類似団体よりも低い水準ですが、今後の改築工事等の財源確保や、施設の長寿命化を検討する必要があります。

② 管渠老朽化率は、法定耐用年数に達した管渠がないため、老朽化対策を行っていないことから0%となっています。しかし、機械設備、電気設備には耐用年数を経過している施設もあり、平成30年度に作成した「津山市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、長寿命化を促す対策を行っています。

③ 管渠改善率は耐用年数に達した管渠がないため低い水準ですが、一部の雨水路を近年多発する集中豪雨に対応できるように改良を進めています。

## 全体総括

本市の公共下水道事業は、類似団体と比較して処理区域内人口密度が低く、使用料収入に対して資本費が高くなる傾向にあります。使用料は県内でも高い水準の設定としていますが、人口減少などの影響を受けて増収に至っていません。これに伴う赤字を一般会計繰入金で補填しているため欠損金は生じていませんが、一般会計に依存しない健全経営を目指し、経営戦略に基づく効率的な経営や、全体計画の見直しによる資本費の抑制を検討します。

また、「津山市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、効率的な施設更新に取り組みます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。